

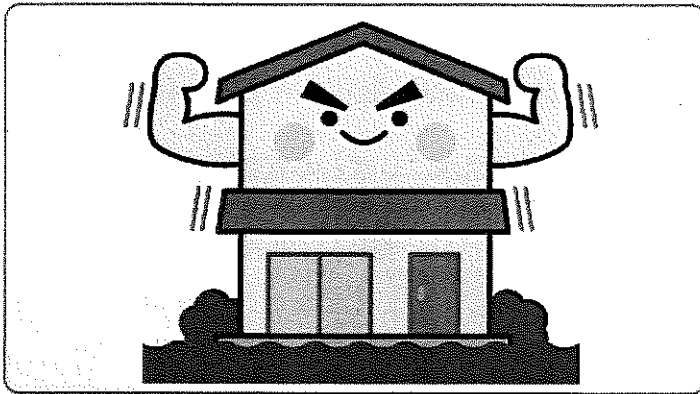
名東消防署からのお知らせです

# 地震火災を防ぐポイント

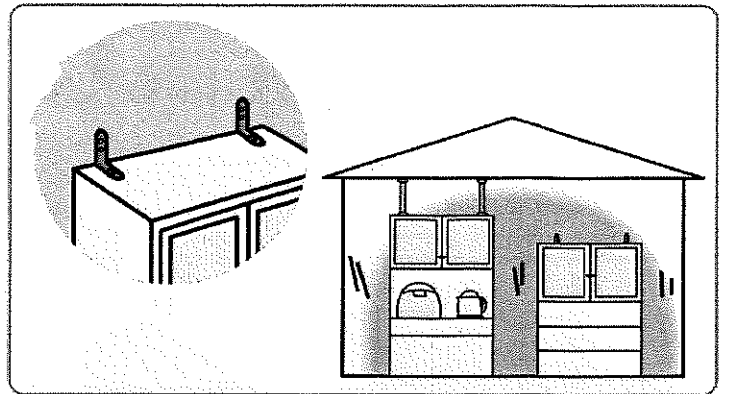
## 地震火災対策きちんと出来ていますか？

### 事前の対策

住まいの耐震性を確保しましょう

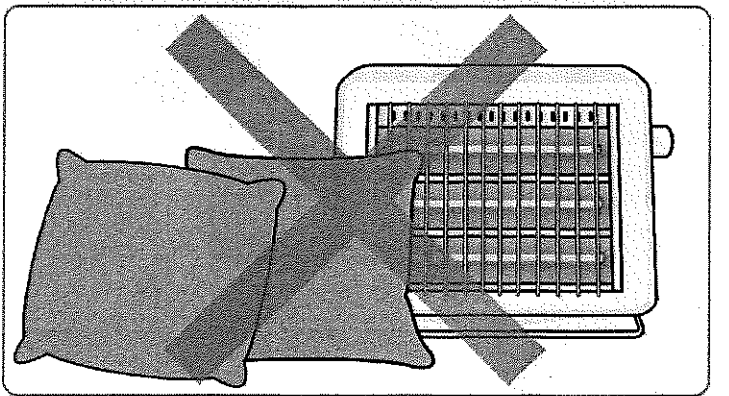
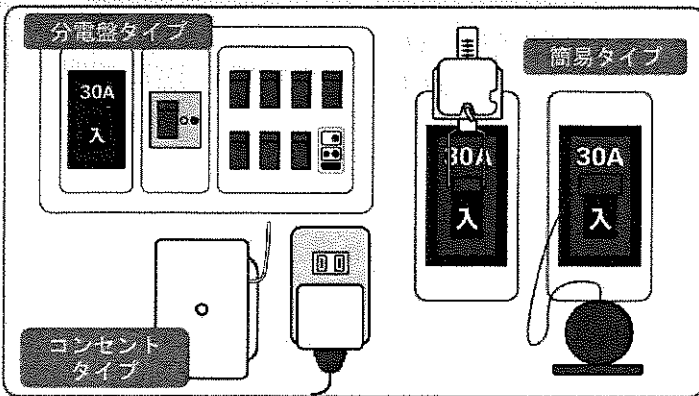


家具等の転倒防止対策（固定）を行きましょう



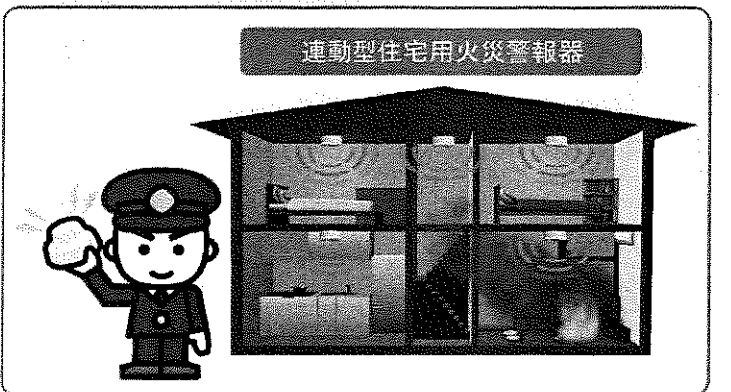
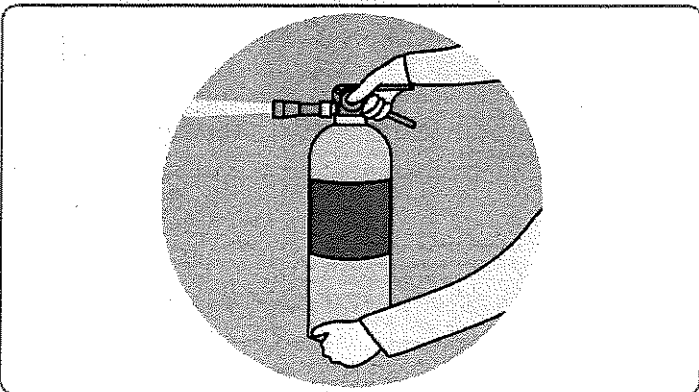
感震ブレーカーを設置しましょう

ストープ等の暖房機器の周辺は整理整頓し、可燃物を近くに置かないようにしましょう



住宅用消火器等を設置し使用方法について確認しましょう

住宅用火災警報器を設置しましょう

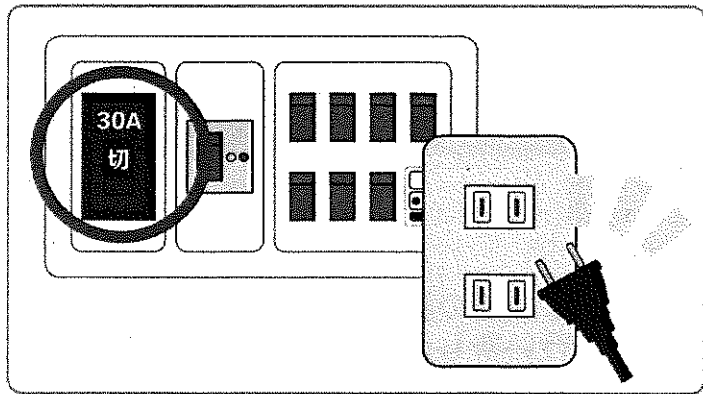


※交換の際は連動型住宅用火災警報器などの付加的な機能を併せ持つ機器へ交換しましょう

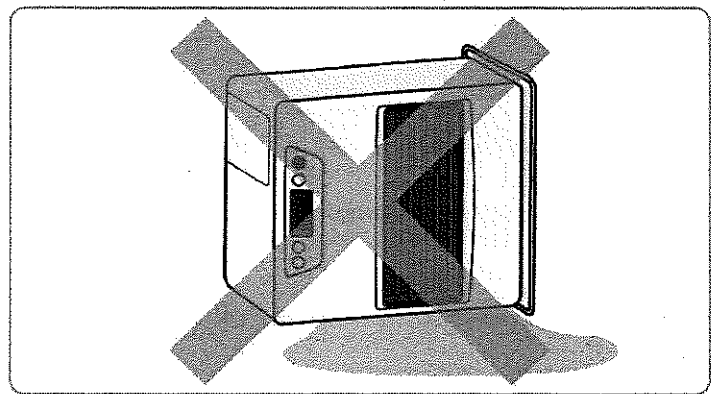
※設置場所については市町村条例で定められています。

## ☑ 地震直後の行動

停電中は電気器具のスイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから抜きましょう。避難するときはブレーカーを落としましょう。

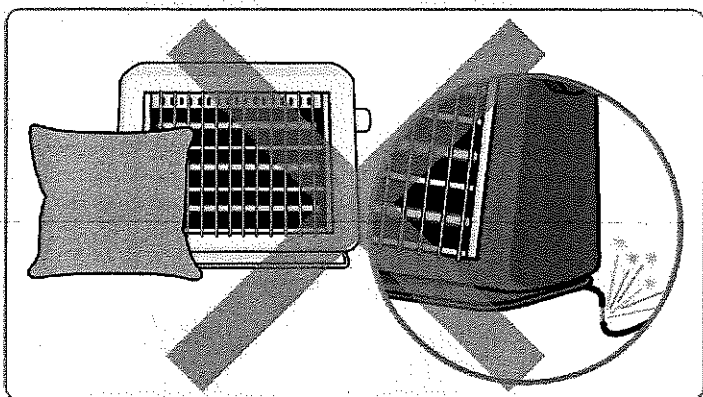


石油ストーブや石油ファンヒーターからの油漏れの有無を確認しましょう。

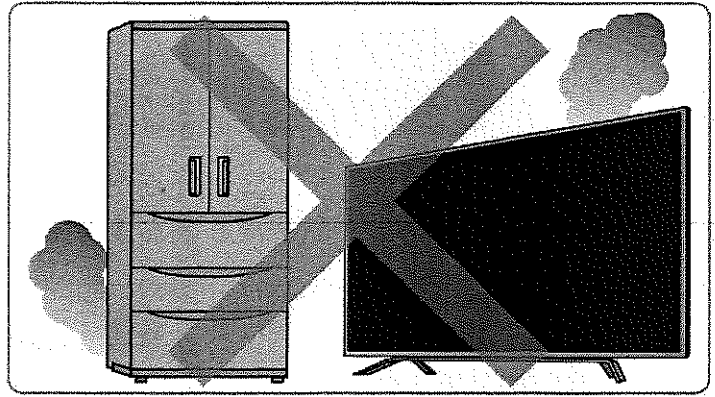


## ☑ 地震発生からしばらくして (電気やガスの復旧、避難からもどったら)

ガス機器、電気器具及び石油器具の使用を再開するときは、機器に破損がないこと、近くに燃えやすいものがないことを確認しましょう。



再通电後は、しばらく電気器具に異常がないか注意を払いましょう (煙、におい)

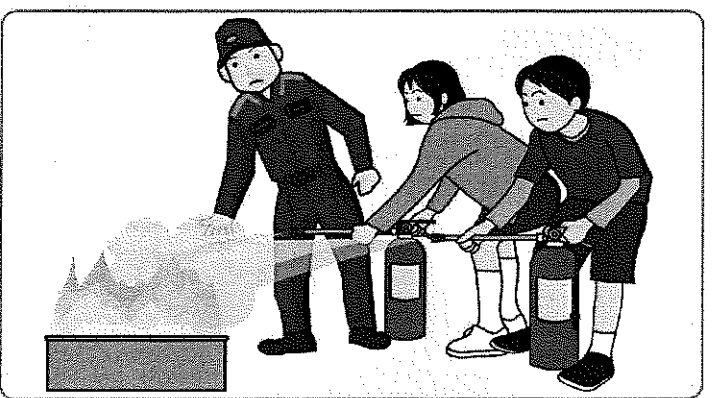


## ☑ 日頃からの対策

消防団や自主防災組織等へ参加しましょう。



地域の防災訓練へ参加するなどし、発災時の対応要領の習熟を図りましょう。



お問い合わせ先

名古屋市名東消防署 TEL : 052-703-0119

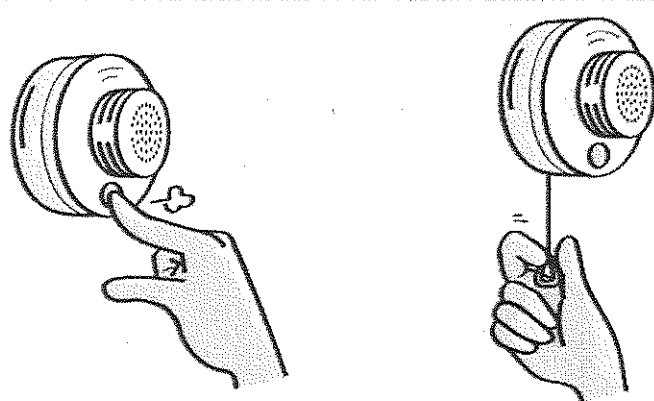
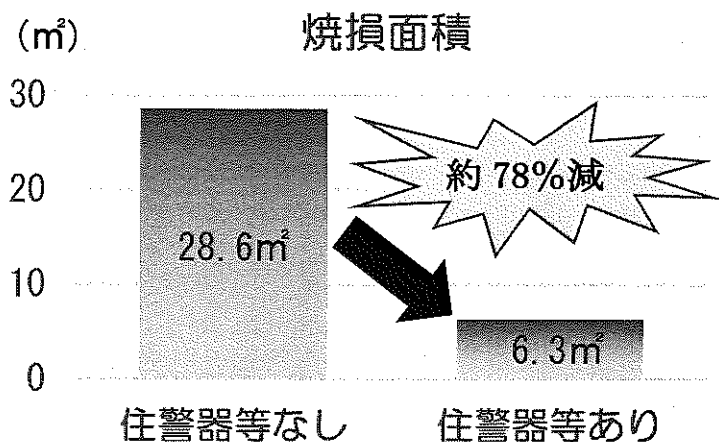
# 名古屋市消防局からのお知らせです!

住宅用火災警報器を設置・点検していますか?



**正常に作動することで  
被害が軽減します!**

**点検方法は簡単!**



ボタンを押す

または

ヒモを引く

正常であれば音や音声が鳴りますが・・・

過去10年(H26年~R5年)平均の住警器等の設置有無別の住宅火災1件あたりにおける焼損面積です。

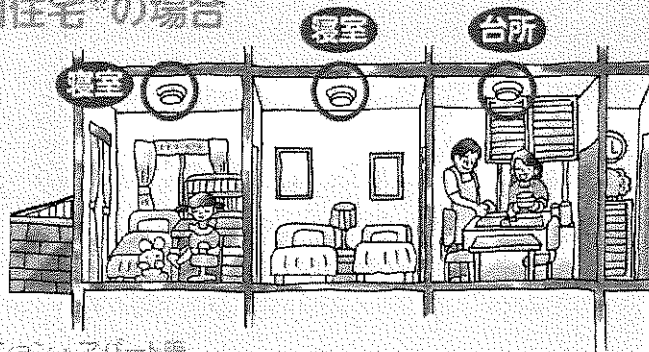
※住警器等:「住宅用火災警報器」または「自動火災報知設備」

音や音声が鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」です。

**設置から10年を目安に、機器ごと交換しましょう!**

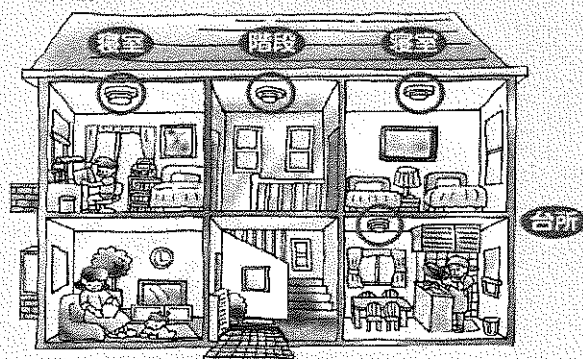
設置場所: 【台所】 【すべての寝室】 【寝室のある階の階段】

共同住宅の場合



※マンション・アパート等

戸建住宅の場合



詳しくは

名古屋市 住宅用火災警報器

検索

名東消防署予防課

TEL:052-703-0119